

# NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.48

発行日 2003年12月25日  
発行者 NICE沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内  
☎055-934-4717



**ありがとう**  
**23人のさわやかな笑顔と**  
**思い出を**



ふれあい部会

## タイ農業青年招聘事業

10月3日室町キティヤさんによるタイの勉強会から始まった今年のASEAN招聘事業は数回の綿密な打ち合わせを重ね11月18日を迎えました。青年達は勿論私達も期待が膨らみ、琴による出迎えの演奏、明るい笑顔と少し緊張した雰囲気です。歓迎会が始まりました。覚えてたの彼等の日本語の挨拶は爽やかです。すっかり空気は和んでい



ました。女性14人  
男性9人総勢23人  
です。



19日の陶芸教室では粘土を使ってろくろをまわし、「ごす」で絵を描いて楽しそうでした。午後はランの栽培農家で研修、熱心に質問をして時間が短く感じられるほどでした。

20日の鱒の開き作り、みかん狩り、選果場の研修では、大変多くの専門的な質問が寄せられました。

21日はJ A南駿での講義そしてホームステイ先へ緊張した面持ちで出かけていきました。毎日雨模様でしたが翌日からは初冬らしい澄んだ空に富士山がくっきりと浮かんでおり23日の「国際交流フェア」にも青年と家族たちが多数参加されて、イラン、トルコ、インド、台湾、ペルー、インドネシア、タイ、各国のブースで試食し日本の文化にも触れ着物を着てお茶を楽しんでいました。フェアには多数の市民の方々も早くから来場されてこのイベントが広まってきている事が感じられました。



歓送会ではタイのダンス、炭坑節、出来上がってきたマイカップが披露され、新しい家族との別れは尽きないようでした。最後の青果市場での研修は土砂降りの雨でしたが多くの質問で埋まり、御用邸では欄間の飾りと手すきガラスに関心が集まっていました。屈託のない明るい青年たちとの出会いは私たちに何をプレゼントしてくれたのでしょうか？



### 『歓送会』

青木 峰子

11月24日午後6時30分より東急ホテルで、タイ青年達の歓送会が開かれた。青年23名、ホルトファミリー、お世話になった関係者、スタッフ百余名が参集した。プログラムの流れの中、タイの踊りを披露。そしてその踊りを会場の人に指導し皆で盛り上がった。日本も恒例の炭坑節を二〜三重の輪になり、またまた盛り上がった。初日の体験学習で作った湯呑みのお土産を一人ひとりに手渡した。スタッフの塩川さん手作りの下駄も配られた。象の置物をお礼にいただいた。杉原部会長のお別れの言葉に続き、全員でアーチを作り送り出した。廊下で待つホストファミリーと最後の別れと、時の過ぎるのが惜しまれた。

とても明るく、人なつっこいタイ青年たちです。サンクサンもその一人で、とても笑顔のステキな方です。サンクサンの日本のママ、杉山さんは「私が仕事で遅くなった日に、夕食にタイ料理を作ってくれたんです。すごく感激しました。タイに帰したくないです」とエレベーターの中で話しておりました。さぞステキな思い出を作られたことでしょう。

**ふれあい部会**
**『ホームステイ』**
**渡井 邦子**

タイ青年の受入れは今回で4回目であり、私自身旅行したこともありますので、食文化、生活習慣などの不安はあまりありませんでした。共通の話題がたくさんあり、会話が盛り上がりました。食べ物の好き嫌いもなく、おいしいと言って食べてくれました。陽気で私どもにも優しく、我が娘のように愛しく感じました。雪化粧した富士山に感動しておりましたので、ドライブに誘いましたらとても喜んでくれました。特に鳴沢村での富士山の眺めが気に入り、この感動をすぐ友達や両親に伝えたいということで、公衆電話に飛び込みました。彼女は交流パーティの後、“Good-by”は言わないようにしましょう。“See you next year in Thailand”と言って別れました。この交流を通してお互いの文化をより深く理解でき、人との触れ合いの大切さを改めて教えられました。

このような機会をより多くの人々に広げることが国際理解につながると思います。楽しい思い出と楽しみが又一つ増えました。ありがとうございました。


**『沼津の印象』**
**Ms. アラーヤ・ジュンタスック**

沼津で感動したのは、貴市滞在初日の市長表敬の際の歓迎ぶりです。また、沼津市民は美しい自然環境や芸術文化の保存、きれいな水に誇りを持っていると感じました。

貴市におけるプログラムは、大変素晴らしいという印象を受けました。陶芸は言わずもがな、干物作り体験や蜜柑狩りなど、楽しみながら同時に知識も得られる内容でした。また、ホームステイでは短い日数の中、また年齢差も言葉の違いもある中で、時には分からないこともありましたが、ハートで通じ合い、十分にわかり合うことができました。

沼津で出会った人々は皆、大変親切でした。私たちがどんなに質問攻めにしても、きちんと応じて下さいました。沼津市は美しく、穏やかで、観光客にとっても安全な所で、ロマンチックな雰囲気の街です。通りを散歩する時には、かすかに楽器の音も聞こえました。狩野川は昼夜を問わず大変きれいでした。

最後に、この地方プログラムをアレンジして下さいましたNICEの皆さん他関係者の皆様から御礼を申し上げたいと思います。



**岳陽部会**

# 岳陽部会活動アラカルト

## 日本語講師を派遣しました

岳陽市より日本語講師派遣の要請を受け、公募した結果4名の応募者があり、9月5日の面接・選考会を経て堀米温子さんと増田美穂さんの2名の派遣が決定しました。10月23日2人は岳陽市第八中学校（中高一貫教育）に赴任し、11月初旬から授業を開始しました。2人とも試行錯誤しながら、元気に日本語を教え沼津との文化交流の一助となっているそうです。



## 第2回中国料理教室が 開催されました

10月12日(日) 第1地区センター

今回は浙江省温州市出身の赤井さんを講師に迎え、白身魚の香油かけ・中国餅の炒め物・スープ（酸辛湯）の3品の温州料理に挑戦しました。塩と胡椒を主体としたあっさりした味付けが大好評でした。第3回は来年2月28日(土)の予定です。



## 岳陽市商工業界招商引資考察団来沼

10月24日刘建華岳陽市科技局長を団長とする

「岳陽市商工業界招商引資考察団」一行14名が来沼。短い滞在でしたが沼津商工会議所の表敬訪問、富士山5合目、御用邸、千本浜などを参観し26日関西方面に向けて離沼しました。



## 唐懷岳指文字書道の実演と作品展が開催

11/3～6 市民文化センター

友好都市岳陽市出身、現在宇都宮在住の唐懷岳さんを迎えて、指で書いた中国古典詩の作品展、実演が行なわれました。指で書く珍しい書道芸術に字を覚えてたての子供から年輩者まで熱心に見入り、自ら指を黒くして体験していました。あわせて、友好都市の紹介パネル等も展示、岳陽部会員の協力の下に秋の風情の漂う竹と秋の草花のオブジェも彩りを添えました。



## 太極拳教室が開催されました

11/10・17・24・12/1 市民体育館

毎年大好評の太極拳教室4回シリーズが開催され、函南町在住の桐山千尋先生のご指導により、8式太極拳をマスターしました。日頃接する動のスポーツとは違って型を重視する静のスポーツで心身ともに癒された事でしょう。

# 第12回英語&日本語スピーチコンテスト

10月19日(日)沼津市民文化センター大会議室において、第12回英語&日本語スピーチコンテストが開催されました。

今年度は、出場者・聴衆ともに多数の参加がありました。会場が多少小さかったせいもありますが、立ち見が出るほどだったのは、スタッフ一同嬉しい誤算でした。これは、去年の反省をもとに早くからの周知活動と、ポスターの工夫などを行ったのが良かったのかも知れません。

日本語の部の参加者は定員の10名で、アジア・アメリカ・オセアニア・アフリカと実に多国籍でした。たどたどしい日本語、流暢な日本語さまざまでしたが、皆さんの真摯な気持ちが伝わってくる良いものばかりでした。

英語の部では、ネイティブさながらのスピーチあり、正確でわかりやすい文章あり、文法はともかく心に響いてくるスピーチありで、とてもバラエティーにとんだものでした。

コンテスト後の親睦会もたいへん有意義なものとなりました。今回はいつもと違い手作り会場での、立食形式だったのですが、手間がかかった分、親睦が持てたような気がします。参加者同士で連絡先を教えあったり、悩みを相談しあったり、日本人の友達が欲しいと訴えた外国人に何人もの候補者が出たり！皆楽しそうに過ごしていました。

## 入賞者

### 日本語の部

- 優勝…司 強 (中国)  
会社員 「チャレンジ」
- 準優勝…ベン・ワイントラブ (アメリカ)  
英語教師 「車の未来と環境」
- 三位…タン・チアユアン (マレーシア)  
留学生 「日本語と私」

### 英語の部

- 優勝…広海 牧子 (三島市) 高校生  
「The spirit of Glocalization」
- 準優勝…菅沼 武治 (裾野市) 公務員  
「My dream after retirement」
- 三位…伊藤めぐみ (沼津市) 高校生  
「The Great Upheaval」



▲司 強さん



▲広海牧子さん


 ◀写真左：左側 菅沼武治さん  
右側 伊藤めぐみさん

 ◀写真右：左側 ベン・ワイントラブさん  
右側 タン・チアユアンさん


## 日本語教師奮闘記

現在、日本語教師として湖南省岳陽市に派遣された増田美穂です。

部屋は、2人同室です。2LDKなので、それぞれ部屋はありますが、ほとんどリビングで2人一緒にいます。やっと昨日、炊飯器等の生活に必要な物もほとんど揃いまして、落ち着いたところですよ。堀米さんには、生活の上で色々フォローしていただいています。趣味趣向もとても似ているので、生活上なんの問題もありません。むしろ、中国への好奇心と堀米さんとの生活とで、毎日刺激があり楽しいです。(笑)

授業の方は、今週日曜日からは始まることになりました。担当は

**堀米**：日曜日ー2時間…中高生の日本語を習いたいという学生のクラス。(王さんが教えていた特別クラス)

平日ー7時間…高校1年生。各クラス週1時間。

**増田**：平日ー9時間…中学2年生。各クラス週1時間、になりました。

早速、堀米さんは今度の日曜日のクラスから始めます。日曜日のクラスは、王さんの授業を2回見に行くことが出来ました。その中で、少しですが、王さんが授業に参加させて下さり私たちの緊張をほぐして下さいました。前回の授業では、すでに堀米さんがそのクラスの担当になると決まっていたので、その授業の中で、堀米さんの紹介と堀米さんと生徒とのコミュニケーションをして頂きました。王さんがとても良い授業をしていたおかげで、私が思っていたより、生徒の発音もよく驚きました。平日のクラスは、全くの初心者のクラスになります。

広州や今回の北京でのニュースで日本人の行動について、私達も反感を持っていますが、今回の私達の授業や文化交流で、生徒達の日本人への思い込みをなくすように努力していきたいです。

2人とも、元気にやっています。

外事弁の王さんや福地さんには大変お世話になっております。学校長からは、沼津市と岳陽市の友好関係のためにと、2人の部屋に「書」を書いて下さり、部屋に飾るようにと、額も用意してくれるそうです。沼津に持って帰れるようにと、第八中学校の校長先生の名前入りです。とても、素晴らしい歓迎を受けていて、こちら

が恐縮してしまいます。

期待に応えられるよう、堀米さんと共に努力していきます。

これを以て、今回の報告とさせていただきます。

## お知らせ

### 湖南理工学院(友好都市岳陽市)への 留学生募集!

期 間	2004年3月から1年以上
費 用	自費
必修科目	中国語
選択科目	中国画 太極拳
資 格	沼津市在住・在勤で高卒以上の健康な方
申し込み	所定の申込用紙、最終学歴の成績証明書、卒業証明書
募集〆切り	1月30日(金)
面接・筆記試験	2月8日(日)

### 第12回春節祭を開催します。

日時	2004年2月1日(日)11:30~15:30
場所	日の出町広場(日の出町16-1)
会費	500円
内容	胡弓・太極拳、マジックショー、中華点心、福引

スタッフも募集しています!

### 国際スポーツ交流会に 参加しませんか!

と き	2004年3月14日(日) 13:00~16:00
と ころ	勤労者体育センター (沼津市民文化センター東側)
内 容	バスケットボール・バレーボール バドミントン・綱引き など
定 員	日本人50名・外国人50名 (いずれも先着順)
参加費	無料(ただし、駐車場は有料です)
持ち物	体育館シューズ・タオル
申込み	NICE 沼津国際交流協会 TEL 055-934-4717 月~金曜日 8:30~17:15